

ワモンゴキブリ



成虫の全長は平均 40 mm、身体全体は茶色っぽい色をしているが、胸あたりはオレンジ～黄色でリング状の斑紋があります。形はずんぐりしていて長い触角が特徴です。

卵を産む場所は湿気が多く卵が隠れる場所です。凹凸のある場所(木、段ボール等)で産卵するときは凹凸した材料を噛み碎き卵を覆います。主に地下室や下水道、共同溝などに生息し気温が 20°C以下の状況では活動することが出来ません。